

2022年1月度 旅行業の倒産状況

2022年2月8日
プレスリリース

倒産概況

2022（令和4）年1月度 旅行業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	0 件	0 円
前年同月比	▲ 100.00%	▲ 100.00%
2021年1月	2 件	9,600万円
前月比	▲ 100.00%	▲ 100.00%
2021年12月	2 件	5億4,300万円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合せ：経済研究室
電 話：03(6910)3157

倒産件数 3カ月ぶりにゼロ 春の旅行需要の消失が懸念

1月の旅行業の倒産は2021年10月以来、3カ月ぶりに発生がなかった（前年同月2件）。また、1月としても2012年以来、10年ぶりにゼロになった。これは、雇用調整助成金などの各種補助金や自治体・金融機関の制度融資など資金繰り支援策が寄与した。

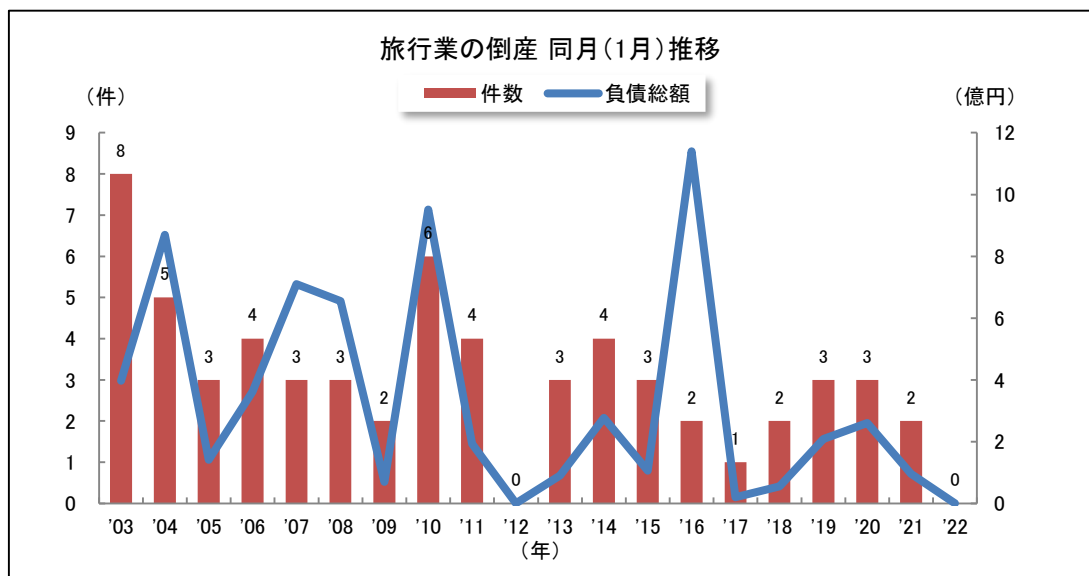
旅行業の倒産はゼロだったが、1月は沖縄や北海道で観光客向けレンタカーを手掛ける（株）トラベルレンタカー（沖縄・負債23億3,700万円）が関連会社2社とともに民事再生法の適用を申請。さらに、インバウンド客をはじめ旅行者らに向けバス事業を展開していた総和観光（株）（茨城、負債7億円）が破産開始決定を受けるなど、周辺の関連事業者の倒産が相次いだ。

新型コロナウイルス感染者数の急増により、卒業旅行や春の大型連休の需要消失も再び危惧され、年度末に向け中小・零細企業を中心に、「息切れ」による倒産増加も懸念される。

旅行業の倒産 月次推移

（負債総額単位：百万円）

年 月	2019(令和1)年		2020(令和2)年		2021(令和3)年		2022(令和4)年	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
1月	3	209	3	260	2	96	0	0
2月	3	182	4	136	4	104		
3月	4	166	5	422	3	207		
4月	1	100	1	178	3	1,017		
5月	2	40	0	0	2	82		
6月	1	35	2	27,845	4	244		
7月	2	73	2	21	1	97		
8月	1	200	1	250	4	774		
9月	2	122	0	0	2	160		
10月	0	0	6	775	0	0		
11月	4	204	2	85	4	999		
12月	2	90	0	0	2	543		
年計	25	1,421	26	29,972	31	4,323	0	0



旅行業の倒産 同月(1月)推移

年月	件数		負債総額		平均 負債額
	(件)	前年比	(百万円)	前年比	
2003年1月	8	—	397	—	49
2004年1月	5	▲37.50%	870	119.14%	174
2005年1月	3	▲40.00%	141	▲83.79%	47
2006年1月	4	33.33%	362	156.73%	90
2007年1月	3	▲25.00%	710	96.13%	236
2008年1月	3	0.00%	655	▲7.74%	218
2009年1月	2	▲33.33%	70	▲89.31%	35
2010年1月	6	200.00%	951	1258.57%	158
2011年1月	4	▲33.33%	193	▲79.70%	48
2012年1月	0	▲100.00%	0	▲100.00%	—
2013年1月	3	—	90	—	30
2014年1月	4	33.33%	277	207.77%	69
2015年1月	3	▲25.00%	106	▲61.73%	35
2016年1月	2	▲33.33%	1,140	975.47%	570
2017年1月	1	▲50.00%	20	▲98.24%	20
2018年1月	2	100.00%	55	175.00%	27
2019年1月	3	50.00%	209	280.00%	69
2020年1月	3	0.00%	260	24.40%	86
2021年1月	2	▲33.33%	96	▲63.07%	48
2022年1月	0	▲100.00%	0	▲100.00%	—